



社会福祉  
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 17 号

平成20年 8月25日発行

# ひとつぶの麦

社会福祉法人

九十九里ホーム

〒289-2147

千葉県匝瑳市飯倉21番地

TEL 0479-72-1131(代)

<http://www.99-home.com>



(聖マーガレットホーム 澤田 明江さん)

## 「ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び…」

### — 新約聖書「マルコによる福音書 第4章」—

聖マーガレットホーム入所者の澤田明江さんが口にスティックをくわえてパソコンで描いて下さったのは海辺の町の光景です。この絵を見ると港に近い町にいた頃を思い出します。教会にはミッションズ・トゥ・シーフェアラーズという船員さんや港にかかわる働きがあり、毎年7月の第2日曜日を「海の主日」として船員さんやこの働きを覚えて祈ります。

この船員さんの為の働きが九十九里ホームとも関係があります。九十九里ホームが今の土地に定まる時のことですが、ヘンテ女史を手助けしていた松本正雄司祭が地元の人々を集めて説明会を開きました。しかし人々はクリスチャンが愛のゆえに結核療養所を建てるということを理解してくれませんでした。すると、参加者の一人が皆に言いました。「自分はかつて船員をしていた時英国に行ったが、英国人女性が自分たち日本人船員をバスに乗せてロンドン市内を案内し、紅茶と菓子をご馳走してくれた。しかも自分たちは一銭も払わなかった。クリスチャンとはこういうものだ。」この発言で皆が納得し、この土地に九十九里ホームができることになりました。英国の港での女性の働きが長い時間を経て、今の九十九里ホームという実を結んだのです。

日本聖公会八日市場聖三一教会牧師  
九十九里ホーム・チャプレン 司祭 竹内一也

## 当法人に新たな事業所が加わりました

### —介護老人保健施設「日向の里」のご紹介—

本年4月に、介護老人保健施設「日向の里」が、当法人に新たな事業所として加わりました。「日向の里」は、山武市木原地区にある開設から八年を迎える施設で、入所、ショートステイ、デイケアの機能を有し、同地域の高齢者介護の中心的な施設として、地域の高齢者福祉に貢献してきました。今回、「日向の里」の特徴や今後の取り組みなどについて、「日向の里」の職員に聞きましたので、ご紹介いたします。

#### 「日向の里」の特徴や長所

一日向の里は、介護老人保健施設として入所やデイケアなどの機能がありますが、特徴や長所はどのような点ですか。

**重田** デイケアでは、外出する機会を多く設けるようにしています。6月は「多古町の道の駅」へあじさい観賞に行ってきました。また、毎月いろいろな行事を実施するようにしています。

**瀧村** 入所も、外出や行事をできるだけ行うようにしています。施設の回りに自然が豊富なので、散歩に出かけたり、花摘みなどはよくやりますね。

**重田** 施設に隣接しているところに古民家があるのですが、その一部を陶芸室として整備し、作業療法の一環として陶芸を行っています。陶芸に必要な設備が全て整っており、作業療法士の指導のもと行っています。デイケアで、ここまで本格的な設備を整え陶芸をやっているところは少ないと思います。

**高木** リハビリテーションも積極的に行っています。リハビリテーション専用の部屋があり、病院と同じ程度の設備を有しているのも特徴の一つだと思います。以前の職場は病院だったのですが、病院との違いは利用者さんとコミュニケーションを取りながら、日常生活もきちんと見ていくことだと思います。

#### 大切にしていることや重視していること

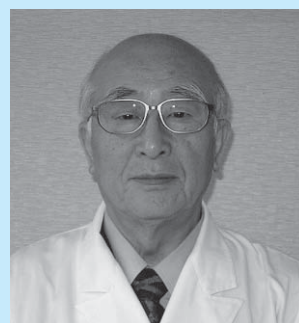
—日常の業務を行うにあたり、大切にしていることや重視していることは何ですか。

**早川** 利用者の方にはできるだけ笑顔で接するようにしています。普段は喋らない認知症の方が、折り紙を一緒に作ったときに、「きれいね」と言ってくれた時は嬉しかったですね。

**篠原** 食事は、できるだけ残菜がでないように、メニューを工夫するようにしています。メニューは何種類か用意して、肉や魚が嫌いな方には別のメニューで対応しています。

デイケアの食事は利用者さんとコミュニケーションを取りながら、その場で器によそって、温かいうちに食べられるようにしています。また、栄養ケアマネジメントも積極的に行っています。利用者さんの栄養状態を体重減少率、アルブミン値等の数値や実際の状況を観察することでの確に判断し、利用者さん一人ひとりに合った栄養ケアを実施するようにしています。栄養

本年4月より社会福祉法人九十九里ホームの一員となり、日向の里職員一同は、新たな気持ちで職務に励んでおります。現在の当施設の入所者数は73名、平均年齢は84歳、平均入所期間は565日となっています。現状では在宅復帰の環境は厳しいものがあり、入所期間の長期化の傾向は避けられません。今後は、医療、介護、福祉の様々な機能を有する九十九里ホームの特性を生かし、法人内の各事業所との連携を密にして、利用者の方々により満足していただけるよう、課題の解決に向け取り組んでまいりたいと思います。今後とも、向日向の里をよろしく願いいたします。



日向の里 施設長  
伊藤 文雄



ケアは、栄養士だけでなく他の職種とカンファレンス等を通じて連携しながら行い、より効果が上がるようにしています。

**高木** リハ室でのリハだけではなく、日常生活全般の側面からみていくことも大切だと思います。そのためには、介護職や看護師と連携を取り、情報交換をより密に行っていきたいと思います。

### 今後の課題

一皆さん、いろいろと工夫して利用者の方へのケアを行っているようですが、今後の課題や取り組んでみたいことは何ですか。

**瀧村** 現在、陶芸はデイケアの利用者の方には行っていますが、入所者の方には行っていません。3階の入所者の方は比較的元気な方が多く、編み物などが好きな方もいらっしゃるのですが、是非、入所者の方にも作業療法の一環としてできればと思います。

**篠原** 利用者の方が食事しているところは、できるだけ直接見て食べ方や食べる量をチェックするようにしています。新しい方や具合の悪い方の場合は、特に注意して見えています。利用者一人ひとりに対して、できるだけ個別対応した栄養ケアをするようにしていますが、その点は今後とも継続していきたいと思います。また、嚥下や口腔ケアについても、更に勉強し、より充実した栄養ケアが行えるようにしたいと思います。

**高木** リハビリテーションマネジメントに基づき、利用者一人ひとりの状態にあったリハビリプログラムを実施していますが、今後は他の職種とのコミュニケーションを取り連携を深めることで、マネジメントをより充実させたいですね。

**重田** 現在、一部を陶芸室として利用している古民家を、何らかの形で利用できないものかと思っています。ある程度の改装は必要かもしれませんが、利用者の方には子供のころや若いころに暮らした懐かしい落ち着いた空間として利用していただけたらと思います。そのような空間でのんびり過ごしていただくことで、外出やレクでは得られない心の余裕を持っていただけたらと思います。

### 九十九里ホームの一員となり期待すること

—今回、「日向の里」は、医療、介護、福祉の様々な機能を有する社会福祉法人九十九里ホームの一員となったわけですが、九十九里ホーム全体や他の施設に期待することは何ですか。

**早川** 「日向の里」以外の施設で勤務したことがないので、是非他の施設のことを知ることができればと思います。そして、九十九里ホームの他の施設のいいところを学んでいきたいと思っています。

**高木** 九十九里ホームのリハのスタッフはいろんなことに積極的なので、勉強会などに参加して交流していきたいと思っています。「日向の里」は単独施設ですので、考えが偏らないように、九十九里ホームのリハのスタッフから様々なことを吸収していきたいと思っています。

**篠原** 法人内の栄養士の連絡会に参加して、他の施設の栄養士の方と情報交換をすることで、食事のメニューや栄養ケアマネジメント等をより充実させていきたいと思っています。

**瀧村** 九十九里ホームには様々な施設があります。今後は、九十九里ホームの他の施設との連携、特に九十九里ホーム病院には医療面での協力と、特別養護老人ホームには在宅へ戻れない方の受け入れ先として期待しています。



左より瀧村奈美さん（介護職）、早川久美さん（介護職）、重田千春さん（介護職）、高木めぐみさん（理学療法士）、篠原直子さん（管理栄養士）

# 「日向の里」のご案内

介護老人保健施設「日向の里」は、閑静で緑に囲まれた素晴らしい周辺環境に恵まれ、施設全般にわたり、利用者の方にゆったりとご利用していただける設備とスペースがあります。リハビリの一環として、本格的な設備を有する陶芸室にて、作業療法士の指導のもと陶芸が盛んに行われており、利用者の方に大変喜ばれております。天气の良い日には施設周辺での散歩や外気浴を行い、施設外活動（買物・外出・ドライブ等）も頻繁に実施しています。また、季節の行事（花見、納涼祭、敬老祭、クリスマス会）はもちろんのこと、レクリエーション等にも積極的に取り組んでいます。今後は、九十九里ホームの他の事業所と連携し、利用者の方々により一層充実したサービスを提供し、満足していただけるよう、職員一同努力して参ります。

## ●ご利用対象者

### ○入所

介護保険の要介護認定を申請し、要介護1～5と認定された方

### ○短期入所・通所

介護保険の要介護認定を申請し、要支援及び要介護1～5と認定された方及び市町が利用を認められた方

## ●提供サービス

### ①入所

### ②短期入所（ショートステイ）

### ③通所（デイケア）

※詳しいサービス内容は下記までお問い合わせ下さい。

## ●定員

○入所 80名

○通所 40名

## ●通所サービス

○営業日 毎週月曜日～土曜日（日曜日、年末年始は休み）

○サービス提供地域 山武郡市、八街市、東金市

## ●ご連絡先

○住所 〒289-1212 千葉県山武市木原2100番地

○TEL 0475-88-1980（代表）

○FAX 0475-88-3223

○E-mail hyuuganosato@tkcnet.ne.jp



緑に囲まれ、ゆったりとした環境



本格的な陶芸室



流しそうめん利用者大喜び



# レポート

## 「ケアサロン悠々」が順調に スタートしました

小規模型通所介護施設「ケアサロン悠々」が開設して四ヶ月が経ちました。利用者の数も、匝瑳市内の各居宅介護支援事業所等のご協力をいただきながら、徐々に増えてきています。

多くの方が利用の理由として「日中一人で過ごしているので、話し相手や交流の場を持ちたい」「家ではなかなか運動ができないので、リハビリや体操などを楽しみにしている」と話されています。ご利用回数を重ねるにつれ、気心も分かり良いお友達ができたことと満面の笑みを浮かべて喜ばれている方もいます。皆様とても積極的に現在の身体を維持しようという意欲が感じられます。我々スタッフも、九十九里ホームデイサービスセンターをはじめ、法人内の連携を強化し、ご利用者のご要

望にできるだけ応え、「ケアサロン悠々」ならではのサービスを創り出していけるよう日々取り組んでいきたいと思っています。

何よりも、当施設は環境に恵まれており、ご利用者から町中とは思えないくらい静かで、緑も豊かな良いところと喜んでいただいています。先頃、小鳥の美しい鳴き声に暫し時を忘れて皆で耳を澄まし、季節の移り変わりを感じるひと時もありました。今後も行事等を通して、地域の方との交流を図っていききたいと考えています。

このサロンが地域の高齢者の憩いの場となるよう、寄贈していただいた太田定吉さんの思いを大切な糧として、地域に根付いたサービスに努めていきたいと思っています。



※ご利用希望の方は、担当のケアマネージャーまたは「ケアサロン悠々」までお問い合わせ下さい  
〈ケアサロン悠々〉  
TEL 0479-73-7116

## 「ボランティア感謝のつどい」開催

～ゲストは俳優の地井武男さん～

日頃のボランティアの活動に感謝をすると共に、地域のボランティアの輪を一層広げていただけるよう、本年6月14日（土）に成田ビューホテルにおいて「ボランティア感謝のつどい」が開催されました。毎年恒例のこの会も19回を迎え、今年から新しく「ケアサロン悠々」、老人保健施設「日向の里」も加わり一層賑やかなものとなりました。今年は講師に地元匝瑳市出身の俳優、地井武男さんをお迎えし、「このごろ思うこと」という演題で講演が行われました。講演の内容は、現在放送されて



自筆の書を使って講演する地井武男さん

いるTV番組「ちい散歩」のこと、俳優仲間のこと、仕事への思いなどでした。その中で地井さんは、現代はいろいろなものが進化しているが、置き忘れていたものがある。それは人と人とのふれあいであり、それが人の心を癒すのではないか。そんな発掘をしたい。また仕事に対する思いとして、役を演じるとき、色々な「想」を集め、それをひとつの形に「創」り出す。そして創った側と見る側と一緒に笑い、涙を流し、想いを「奏」でる。そんな仕事がしたいと語られ、「想・創・奏」と書かれた自筆の書を持参されました。これは私たちの仕事や、ボランティアの活動にも繋がることだと思います。地井さんのものまねを交えての話はとても楽しく、会場の皆さんも一緒に笑い、うなずき、あっという間に1時間が過ぎてしまいました。講演会の後は懇親会に移りました。ここではミモレットによるアトラクションがありました。美しい歌声とおいしい食事をいただきながら、各施設のボランティアさん同士や職員との交流も深まったと思います。少人数から始まったボランティア感謝のつどいは、年々盛大になり、今では約200の方が参加して下さっています。多くの方が九十九里ホームを支えていることに感謝し、さらに地域との交流を図り、地域の中の施設として役割が果たせるように努力していきたいと思ひます。



美しい歌声のミモレット



# 障害者の方の相談に応じます

障害者支援施設聖マーガレットホームでは、本年9月から匝瑳市の指定を受けて、障害者の相談支援事業所を開設します。

○こんなとき、ご相談ください。

- ・障害があり、将来について悩んでいる。
- ・どんな障害者福祉サービスがあるかを知りたい。
- ・障害者スポーツに挑戦したい。
- ・家族が介護に疲れているのでヘルパーや短期入所を利用したい。
- ・障害者が使えるトイレやレストランの情報がほしい。
- ・訪問看護や訪問リハビリを利用したい。
- ・障害者のグループを紹介してほしい。

その他、障害者福祉に関することなら何でも相談に応じます。

○対象者 匝瑳市在住で、障害者手帳をお持ちの方

○対応 相談支援専門員が丁寧に相談に応じます。施設に来園いただくか直接ご自宅に訪問します。(原則8時から17時)また、電話やEメールによる相談も承ります。相談は無料です。

○問い合わせ先

聖マーガレットホーム(担当：鶴澤・宇津木)

電話 0479-79-1905 FAX 0479-79-1906

Eメール：seimarga583@sunny.ocn.ne.jp

## いきいきシニア講座開催

本年6月21日(土)、平成20年度第1回いきいきシニア講座を匝瑳市民ふれあいセンターにおいて開催致しました。あいにくの天気にもかかわらず、90余名の皆様にご出席いただきました。

講師に元千葉県がんセンター長で、現在松丘園嘱託医の澤田勤也先生をお招きし、「特定健診から読み取る今後の過ごし方」～知ってみよう・自分の数値～という演題でご講演いただきました。高血圧、がん、糖尿病等数値から読み取れる予防や現状維持について、男性は9,000歩、女性は8,000歩、一日に歩きましょう等



講師の澤田勤也先生

具体的なお話に、うなずきながら鉛筆を走らせたり、自分の数値と照らし合わせたりする姿も見られました。また、質疑では、「血圧を測定する時間帯は?」「サプリメントの効果は?」等々知ってほしい知識を得ることができ、熱心で積極的な質疑応答が行われました。

皆様のご協力で大盛況のうちに終了することができました。今後も生活に密着した講座を地域の皆様とともに作っていきたくと考えております。

ご協力をお願いいたします。



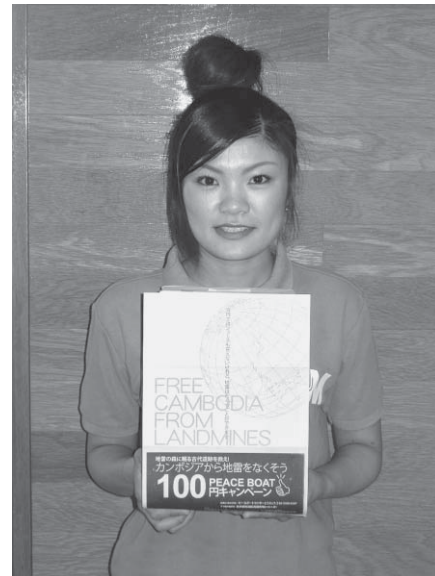
## 聖マーガレットホーム元職員山下佳代さん 募金をもってカンボジアへ

聖マーガレットホーム元職員の山下佳代さんが、九十九里ホームの職員からの募金を持って、カンボジアへ行くことになりました。

山下さんは、当法人の採用試験の作文で、自分の夢について「世界の貧しい人や恵まれない人のところへ行き少しでも役に立ちたい」と書いたそうです。入社してからもこの思いを持ち続け、今年の4月にNGOのピースボートというボランティア団体に会いました。ピースボートとは名前の通り平和の船で、世界一周の船旅で各国を回り、支援物資や平和のメッセージを伝えるものです。

九十九里ホームの職員からの募金は、「カンボジアから地雷をなくそう100円キャンペーン」の一環として、カンボジアで問題になっている地雷を除去して、そこに子供達が安全に過ごせる小学校を建てるために使われます。また、山下さんは、実際に現地へ行き、本人の目で現状を把握したいとのことでした。「一

人の力は微々たるものでも、一人一人が思えばとても大きい力になります。」と、山下さんは語っています。山下さん、世界平和のためにがんばって下さい。



募金箱を持つ山下佳代さん

## 野球同好会、公式戦で勝利！

九十九里ホーム野球同好会は、当法人の各施設の職員で構成されており、練習や練習試合、公式戦出場といった活動を通して、試合での勝利と職員同士の親睦を深める事を目標とし、日々活動しています。

先日は、長嶋茂雄旗争奪野球大会（旭市：海上コミュニティ公園野球場）に出場し、1回戦で息詰まる投手戦の中、延長戦の末6対5のサヨナラ勝ちで突破することができ、劇的な勝利にメンバー一同、大喜びという一幕も見られました。しかし、2回戦では残念な

がら2対6で敗れてしまいました。今後も、勝利を目指しメンバー一丸となって頑張りたいと思います。皆さんの応援をよろしくお願いいたします。



劇的な勝利を得た野球同好会のメンバー



## 助成事業の報告

### 日本船舶振興会(日本財団)より送迎車の寄贈 九十九里ホームデイサービスセンター

日本船舶振興会より、送迎車をいただきました。補助ステップや手すりが付いており、利用者様も乗り降りしやすいと大好評です。今後も安全運転を心掛け、利用者様の送迎に活用させていただきます。



### 三菱電機テクノサービス様より20万円寄付 聖マーガレットホーム

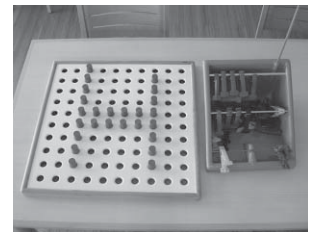
三菱電機テクノサービス様より、赤い羽根共同募金を通じて20万円寄付していただきました。その寄付金を活用し、利用者用冷蔵庫を購入しました。大切に使用したいと思います。



### 佐藤勲様、鈴木幹雄様、津崎靖憲様、田村康孝様より寄贈 ケアサロン悠々



三菱電機株式会社取締役副社長の佐藤勲様と株式会社ティ・アイ・ティ人材開発部長の鈴木幹雄様より、上半身の機能訓練用の機器(写真左)を寄贈していただきました。また、タイヘイ電子株式会社企画推進室の津崎靖憲様と株式会社ティ・アイ・ティ技術部課長の田村康孝様より、手指や認知訓練用の機材(写真右)を寄贈していただきました。ご利用者の方は楽しみながら利用されています。有効に活用させていただきます。



### 大坂久志前園長と共同募金会よりワゴンRの寄贈 瑞穂園

本年3月に退職された大坂久志前園長より車椅子のまま乗り降りできるワゴンR(写真左)を寄



贈していただきました。また、共同募金会からもワゴンR(写真右)を寄贈していただきました。通院や外出の際に大変便利です。各々の車両は、今後とも大切に使用させていただきます。



### NHK歳末たすけあいの寄贈

NHK歳末たすけあいの受配品として、千葉県共同募金会を通じて、三施設に家電品の寄贈がありました。特別養護老人ホーム第二松丘園には、冷蔵庫・洗濯機・加湿器、山田特別養護老人ホームには、洗濯機・乾燥機・ポット・ホットプレート・掃除機、養護老人ホーム瑞穂園には、洗濯機・CDラジカセをいただきました。

家電品は日々の業務に欠かせず、大変役立ちます。利用者の皆様が快適に過ごせるよう、大切に使用させていただきます。



### 共同募金会より福祉車両の寄贈

#### 特別養護老人ホーム第二松丘園

本年6月に、共同募金会より新しい福祉車両(ニッサン・セレナ)を寄贈していただきました。

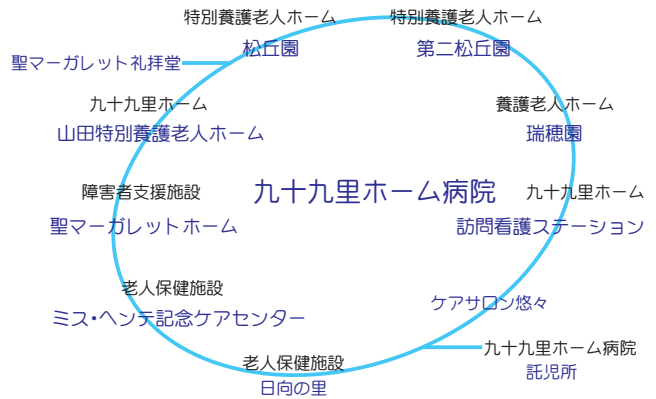
車高が低く、またステップが出る為に乗り降りが非常に楽で、利用者の方が安心して使用することができます。今後とも安全運転に努め、送迎に有効に活用させていただきます。





法人本部全景

九十九里ホームネットワーク



在宅での療養に訪問看護をご利用下さい!

九十九里ホーム訪問看護ステーションでは、皆様のご自宅へ看護師や理学療法士が伺い、ご自宅にて安心して生活が送れるようお手伝いします。

【訪問の内容】

看護・・・健康チェック、病状の観察やアドバイス、床ずれ・経管栄養等のケアや管理  
医師の指示による処置、介護や看護に関する相談の受付など

リハビリ・・・寝返り、起き上がりや歩行などの練習や介助の指導  
食事介助や排泄動作などの手順や介助の指導など

【利用できる方】

介護保険、医療保険どちらでもご利用いただけます。介護保険の場合は、介護認定を受けておられる方に限ります。



【訪問日及び時間】

月曜日～金曜日 8：30～17：00

【訪問地域】

匝瑳市、横芝光町、旭市の一部（旧干潟町）、多古町、香取市の一部（旧山田町）  
※この他の地域の方もご利用は可能です。（但し交通費等、一部自己負担金があります）

【利用料】

介護保険と医療保険で料金が異なります。  
（例）介護保険ご利用の場合 30分未満 1回 425円  
※ご利用時間・内容によって料金は異なります。詳しくはお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

担当のケアマネージャー、  
または九十九里ホーム訪問看護ステーション 看護/金杉  
リハビリ/重田 まで

TEL 0479-72-1131(代表)  
FAX 0479-73-7165

